

高校生・大学生の皆さん
奮ってご参加ください!

文化学部
入試個別相談会
同時開催!
(12:00開始予定)

ポストコロナ社会の 文化と観光を考える

【日時】

2021年

7月4日(日)

14:00開演(13:30開場)

【場所】

京都産業大学
むすびわざ館

京都市下京区中堂寺命婦町1-10

※新型コロナウイルスの感染状況により
開催形態を変更する場合があります。

【プログラム】

●特別公演

京舞井上流 井上安寿子氏による京舞の披露

●概要説明

観光文化コース設置の趣旨と教育内容説明

●基調講演

「遊動の時代を迎えて」 山極壽一 氏

●パネルディスカッション

テーマ:

「京都から展望する文化と観光のゆくえ」

ファシリテーター: 平竹耕三 (京都産業大学文化学部教授)

パネリスト: 秋山正俊 氏 (京都市産業観光局観光MICE推進室長)

井上安寿子 氏 (京舞井上流)

マレス エマニュエル (京都産業大学文化学部准教授)



井上安寿子 氏
(京舞井上流)



山極壽一 氏
(総合地球環境学研究所所長)

【入場無料】 事前申し込み制

【お申し込み】

URL: [https://www.kyoto-su.ac.jp/
events/2021_fcsi/sympo.html](https://www.kyoto-su.ac.jp/events/2021_fcsi/sympo.html)



観光文化コース開設記念 シンポジウム

ポストコロナ社会の 文化と観光を考える

京都産業大学では、文化学部開設20周年を機に、京都文化学科に観光文化コースを開設しました。折しも現在は、世界的なコロナ禍によって文化活動や観光は低迷し、ポストコロナ社会に向けて新たな文化や観光のあり方が模索されています。

本シンポジウムでは、観光文化コースの意義やその学びを広く知っていただけるよう、ポストコロナ社会を展望した文化や観光について、〈持続可能性〉という視点を中心に考えます。

京舞井上流・井上安寿子氏による京舞ご披露の後、前京都大学総長・山極壽一氏による文明的な転換に関わる基調講演をいただき、それを受けて、伝統文化の現状と発展、京都市の「京都観光振興計画2025」がめざす新しい観光について、4名のパネリストにより深めていきます。



京舞披露、パネリスト
井上安寿子 氏
(京舞井上流)

昭和63年能楽観世流九世観世鏡之丞と京舞井上流五世家元井上八千代の長女として京都に生まれる。2歳より稽古を始め、四世及び五世井上八千代に師事。3歳で「四世井上八千代米寿の会」にて初舞台(上方唄「七福神」)。平成18年井上流名取となる。平成31年芸術選奨文部科学大臣新人賞など多数受賞。



基調講演
山極壽一 氏
(総合地球環境学研究所所長)

1952年東京生まれ。京都大学名誉教授。総合地球環境学研究所所長。京都大学理学部卒、理学博士。京都大学理学研究科教授を経て、2020年9月まで京都大学総長を務める。アフリカ各地でゴリラの行動や生態をもとに初期人類の生活を復元し、人類に特有な社会特徴の由来を探っている。『人生で大事なことはみんなゴリラから教わった』など著書多数。



パネリスト
秋山正俊 氏
(京都市産業観光局観光MICE推進室長)

1973年生、1996年京都市役所入庁、2014年文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課長、2018年建設局建設企画部建設総務課長、2021年産業観光局観光MICE推進室長。



パネリスト
マレス エマニュエル
(京都産業大学文化学部准教授)

1978年、フランス出身。工学博士。専門は日本建築史・日本庭園史。現在は京都産業大学文化学部准教授、奈良文化財研究所客員研究員。著書に『縁側から庭へ』(あいり出版、2014年)。編集に『庭師と旅人「動いている庭」から「第三風景」へ』(あいり出版、2021年)。

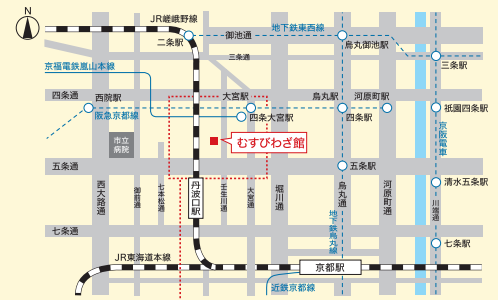


ファシリテーター
平竹耕三
(京都産業大学文化学部教授)

1959年、京都市出身。京都市文化市民局長、文化芸術政策監を経て、現職。経済学博士。専門は文化政策、観光政策、まちづくり。KYOTO STEAM—世界文化交流祭—プロデューサー兼務。著書に『自治体文化政策(まち創生の現場から)』(学芸出版、2016年)、『コムズと永続する地域社会』(日本評論社、2006年)ほか。

【むすびわざ館へのアクセス】

JR「丹波口」駅 徒歩約7分
阪急「大宮」駅・京福「四条大宮」駅 徒歩約11分



④ 有料駐車場

